

## 研究公開用文書

**研究名：**

医用電子血圧計 AVE-1500 を用いた動脈硬化度評価の有用性についての検討

**研究の概要：**

動脈硬化症は狭心症や心筋梗塞、脳梗塞などの主な原因である。そのため、病気発症のリスクを予測し、予防目的に治療介入するためには動脈硬化の進行度を計測する必要がある。これまでに様々な機器が開発され、今日使用されてきているが、どれも計測に時間がかかる、計測前の食事や喫煙の影響が大きいなど、どこでも簡単に計測できるものではないのが現状である。

これに対し、新しく開発された医用電子血圧計 AVE-1500 (PASESA) は、座位のまま、血圧を測定する 2 分間の間に動脈硬化の進行度も同時に計測できる機械である。現在、健康な人に対する検討しかされていないが、本研究で PASESA の有用性が示されれば、これまでよりも簡便に、短時間で動脈硬化の進行を評価することが可能となり、治療もより早期から始めることができると考えています。

**研究対象：**

当院循環器内科外来に通院しているか、当院循環器内科に入院中の患者様を対象としています。

**研究責任者：**

所属：医学部 循環器・腎臓内科学 氏名：石上 友章

**研究実施期間：**

平成 27 年 8 月 7 日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日

**連絡先：**

横浜市立大学附属病院

所属：循環器内科 氏名：中島 理恵

〒：236-0004 住所：横浜市金沢区福浦 3-9 臨床研究棟 A365

電話：045-787-2635 (内線 6092)